**アジア地域ヤギ会議（ARCG 2019）のお知らせ**

ネパール農林大学獣医学部動物科学部では、国際ヤギ協会（IGA）と協力して、第2回アジア地域ヤギ会議（ARCG 2019）を開催します。この会議のテーマは「発展途上国における、食料、栄養、経済安全保障のためのヤギ」で、2019年10月20〜23日にネパールのチトワンで開催されます。

この会議の主な目的は、世界中のヤギ研究開発分野で生み出された知識と技術を共有するために、研究者、学者、開発団体を一堂に会することです。

ネパールの農林大学（AFU）は、教育、研究、普及の3つの基幹をなす、ネパールで最初の国営技術大学です。 AFUは、農業、畜産、水産、林業、および関連分野の分野での教育、研究、開発を促進するために、国際的に有能な人材を生み出すことを目指しています。 AFUは設立されて以来、そのビジョンとミッションを満たすために、さまざまな国内、地域、および国際会議の開催、セミナーやシンポジウムの開催に携わっています。

ヤギは、社交的で、好奇心が強く、穏やかで、独立心の高い、賢い動物で、紀元前10,000年頃に人間によって最初に家畜化されました。世界最大のヤギ人口はアジア（59％）で、次にアフリカ（35％）が続きます。ヤギ飼育は、ネパールの農村部と都市部の若者の間で最も人気のある企業になりつつあります。「貧しい民の牛」であるヤギは、ネパール国内の総肉生産量の約20.4％を占め、水牛（54.3%）に次いで2位です。ヤギは、農家が必要に応じて現金に変換できるため、生きた銀行口座と見なされます。したがって、発展途上国の農村の小自作農の生計の維持に大きく貢献しています。

本会議では、以下の分野での討論が予定されています。

１）発展途上国の食料と経済的安全の源としてのヤギ

２）ヤギの生産政策、社会経済学、バリューチェーン開発

３）ヤギの飼育管理

４）ヤギの給餌と栄養管理

５）ヤギ生産向上のためのフェノミクスとゲノミクスおよびバイオテクノロジー

６）健康管理と疾病管理

７）ヤギ製品加工の進歩

参加費は、USD400（2019年9月30日までの申込）あるいはUSD410（当日参加申込）で、大会会場までのシャトルバスと４日間の昼食およびガラディナーを含みます。詳細は大会HP<<http://www.afu.edu.np/vet/arcg2019>>をご覧ください。